

---

# 朝のまぼろし

P E T

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

朝のまぼろし

### 【コード】

N5905G

### 【作者名】

PET

### 【あらすじ】

一日のぼんやりとした生活、感情をたらたらと書いてます。

美しい雨が降るように、その恋は感動的で  
麗しい花が散るように、その劇は幕を下ろした  
できるなら終わりを見たくなかった、なんて君は言うけれど  
哀しい選択や愚かな言い訳は、  
男にとって、そう感じのわるいものじゃない  
わがままだなあ、なんて君は言ってたけれど  
そうしちゃうのも何となくわかるんだ

僕にとってはいい夢だった  
目覚めたときにそう思わせていた、  
心を焦がすような胸の高まりに、妙な充実感  
だいぶ落ち着いてはきたけれど、  
新たな夢のもとになるだろう、おぼろげな記憶の欠片が  
まるで誘うように意識の満ち引きを漂って、宙に浮かびつつける  
ぼんやりと光り、やんわりと揺らいでる

その幻が造り出す影、過去の過ちを繰り返すその闇はいま、重さを  
残さず消えてなくなった  
消えずにいたのは、僕の痛みを包み込んでくれたのは、  
自由な想いのこもった、暖かい懐かしさの感覚だったんだ  
それは僕にとって、とてもありがたい、大切な記憶と言えるもの  
錆び付いた鍵の向こうでいつも、僕たちが歌っていたあの音楽  
不安気に、知らないことを試しているようなその音をたどり  
子供の頃、口ずさんでいた希望をつかまえた  
そしていま、あの時と同じ気持ちになって、また世界を歩き始めて  
いるように思えるよ

矛盾なんかじゃなくて、もつと単純な苛立ちと  
僕の在り方を決めた人に、感謝と憎しみを同時に抱くような緊張と  
泣きたくなるような喪失感を捨て去って  
君の生き方を守る、君の幸せを手に入れる、そのために僕は生きて  
ゆこう  
そして僕はずっと、変わらない僕であるために  
もう一度強く、そう思うことができたんだ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5905g/>

---

朝のまぼろし

2010年10月22日01時55分発行